

# 第1話



# 第1話 おでませ！女学園48！

(……………ガヤガヤ……………。)

トキ：……………。

(パチンッ！)

(……………。)

トキ：はあ……………。

？：おい。

トキ：……………え！？なに？……………あんた誰？な  
んで動けるの？……………あたしのミス？

？：いや、お前の能力は成功している。

トキ：……………じゃあ、なんで？

？：神だから。

トキ：……………は？

カミ：……………。

トキ：あんたも能力者ってこと？……………初めて会  
った。

カミ：来い。

トキ：は？今から授業なんだけど。サボる気？

カミ：ちょっと待て……………よし、お前の学校には退学届けを出しておいた。

トキ：……………え？

(チャイム音)

カミ：よし、お前ら席座れ。

トキ：……………。

カミ：転校生を紹介する。名前は？

トキ：……………トキ……………。

カミ：よし、お前らよろしくな。じゃあ、小テスト

トを……………。

トキ：ってかさ……………。

カミ：なんだ？

トキ：……生徒……。

カミ：……………。

トキ：2人しかいないじゃない。……学校よね？  
……………ここ……。

カミ：……………今日は身体測定もあるから、  
よろしく。

トキ：答えないの？なに、この状況……………1人  
寝てるし。

カミ：言い忘れてた。この学園は、48人在学している……………教師含めて。

トキ：少な……………。

カミ：でも、全員能力者。もし47人もいたら……………。

トキ：……………うん。

カミ：……………見るのめんどくさい。だからランダムで、何人か呼んでる……………。

トキ：……………それだけ？

カミ：そうだ、よし、そこ座れ。小テストする。

トキ：まあ、いいわ。

? : ……………。

トキ : ……………よいしょ。

? : ねえ、私、あかり。よろしく。

トキ : よ、よろしく……………。

あかり : …………… (じー) ……。

トキ : ……………な、なに？

あかり : へえ、時をとめる能力？……………面白そうね……………。

トキ : え！？……………なんでわかったの……………  
…。

あかり：……………能力……………心読めるから…  
…私……………。

トキ：ふ、ふーん……………。

あかり：……………私のこと変態だ、って思っ  
たんだ……………。

トキ：い、いや、違うから！その、もう……………  
……………調子狂うな……………。

あかり：……………。

？：ぐう……………ぐう……………。

カミ：おい、起きろ。

？：……………う、うえー……………ふあ～……………な

んですか？

カミ：小テスト。

？：小テスト？……………無理ですよ……………  
…こんなに眠たいのに……………。

カミ：……………さえ……………退学…。

さえ：え～？……いやだなー……………冗談です  
よ……………ちょっと待って下さいね、ふあ～…  
……………。

カミ：……………。

さえ：……チェンジ！

(シュワーン♡！)



さえ：……………やっほー！私、みんなのアイドル、さえちゃんだよ！

トキ：……………え？

さえ：あ！君、転校生！初めまして！君の瞳に投げキッス！みんなのアイドル、さえちゃんです！ちゅ♡！よろしくね～♡！

トキ：……………え……………。

カミ：……………小テスト。

トキ：……………。

あかり：大丈夫。あれが平常運転だから。

トキ：……………そ、そう……………。

さえ：小テストなんて、簡単にやっちゃいますよ！校長先生！

トキ：……………校長？

あかり：……………そこにいるじゃない……………  
……………。

トキ：……………あいつ？……………さっき神って言ってた……………ふ、ふーん……………  
…頭痛くなってきた……………。

(チャイム音)

カミ：小テストおわり。休憩、校長室いとく。なにか用があったら、テレパシーで呼べ。

トキ：……………自由ね。……………行っちゃっ

た。

あかり：小テスト。どうだった？

トキ：どうだったものにも……………。

あかり：……………ええ。

トキ：小テストのくせに五教科全部なんて、聞いてないし。

あかり：まあ、うちそんな真面目じゃないから……………。

トキ：……………ふーん。

あかり：……………あなた、最後の問題……………  
…①にしたのね……………。

トキ：……………あんた……………能力使ったの  
ね……………。

あかり：答え。間違ってるわよ、一番ありえない  
の選んだ……………。

トキ：うるさい……………カンニングとか最  
低……………。

あかり：……………凶星？……………勘で言ってみ  
たけれど。

トキ：……………あんたね……………。

あかり：……………あなた、どうしてカンニングし  
なかったの？

トキ：……………校長にバレるじゃん。

あかり：校長？……………ああ、校長はカンニングとか認めてる。私たち能力者だし……………。

トキ：はあ？……………。

あかり：……………でもあなた。それでも使わなかったのね。えらいわ。

トキ：……………うるさい……………。

あかり：……………。

トキ：……さ、さえ、とか言ったわね、あんたは？小テスト。

さえ：ぐう……………。

トキ：……………寝てるし……………。

あかり：気にしないで……………あれが……………。

トキ：平常運転……………でしょ？

あかり：そうよ……………。

トキ：さえの能力は？……………アイドルになっ  
てなにかあるの？

あかり：そうね、彼女の運動能力とか思考力を、  
全面的に発揮できる。

トキ：……………それだけ？

あかり：問題は……………。

トキ：……………うん。

あかり：……………歌よ。

トキ：……………歌？

あかり：アイドルさえちゃんの、歌声を聞くと…  
……………。

トキ：アイドルさえちゃんって……………。

あかり：……………。

トキ：……………どうなるの？

あかり：みんな彼女の事で頭がいっぱいになる  
……………。

トキ：……………え？……………ほんと？

あかり：ほんと。

トキ：なんていうか……………地味ね。

あかり：地味よ。

トキ：認めんだ、そこ……………。

あかり：……………。

トキ：そういえばさ、この学校、名前なんて言うの？

あかり：ここ？ここはね、しんりつかみぞのじょがくえんよ。

トキ：……………え？なんて？

あかり：しんりつ、私立じゃなくて、しんりつ。

トキ：しんりつ？……………神？

あかり：そう、神立……………かみぞのは、カタカナ。

トキ：神立カミゾノ女学園ってこと？

あかり：そうよ。

トキ：変な名前……………。

あかり：まあね……………。

トキ：……………神立って……………校長の事じゃん……………ネームセンスどうなってるのよ……………  
……………。

あかり：……………教頭よ……………。

トキ：教頭？

あかり：教頭が建てたようなもんよ……………この学校。

トキ：ふ、ふーん……………。

あかり：あんなに無気力な校長がここまでしないでしょ？

トキ：確かに……………。教頭ってどんな人？

あかり：さあね……………滅多に会わないし。

トキ：ふーん……………教頭のくせに。

あかり：校長も珍しい……………普段あんなこと  
しないけどね……………。

トキ：そうなの……………。

さえ：ふあ～……………よく寝た……………あ、  
えっと……………名前……………なんでしたっけ？

トキ：起きた……………あたしは…。

あかり：トキさんよ。

トキ：あんたがいうの？

さえ：トキさん……………ふあ～……………  
…いい名前ですね……………能力は……………  
えっと……………何でしたっけ？

トキ：いや、あんたに言った記憶ないし。

あかり：時間停止よ。

トキ：ちょ。

さえ：……………いいですね……………時間停止で…  
……………ずっと眠れる……………。

トキ：使い方よ……………。

あかり：……………（じー）……………。

トキ：……………なによ。

あかり：トイレ……………行きたいのね。

トキ：はあ！？……………いや……………まあ。

あかり：案内する……。

トキ：……………ありがとう。

あかり：さえさん、あなたも行く？

さえ：……………ぐう……………。

トキ：ほっときましょ……。

(ガラガラ！)

あかり：……………こっちよ。

トキ：……………誰かいる。

？：……………あかりせんぱい……………。

トキ：こっち来てるわよ……………。

(ギュ♡！)

トキ：あかりに抱きついた……………。

?：あかりせんぱい……………あったかい。

あかり：……………ゆい……………可愛い……  
……………。

トキ：はあ！？

ゆい：……………だれ？

あかり：ゆい……………もっとギュ♡ってしまし  
よ？この人の事は気にしないで。

トキ：あかり！？ひどくない？……………それ…  
……………あんた……………ゆいっていの？……………  
…トキよ……………あんたちっちゃいわね。

ゆい：……………（パツ！）……………。

トキ：離れた。

ゆい：トキせんぱい。

（ギユ♡！）



トキ：ちよっ！……………。

ゆい：トキせんぱい……………ジュース、買って？

トキ：……………ゆい、可愛いわね。何本でも買ってあげるわよ。

ゆい：ありがとう……………トキせんぱい……………  
……………あったかい……………。

あかり：あなた、甘いのね……………顔真っ赤よ…。

トキ：そう？……………ゆい可愛い……………  
一生あたしのものにする……………。

ゆい：……………（パツ！）。

トキ：……………え？あたし今……………なんか言

った？

あかり：それが彼女の能力よ。

ゆい：……………？

あかり：ゆいに抱きつかれると、みんなメロメロ  
になっちゃうの。

トキ：……………可愛い能力ね……………  
高校生じゃなさそうだけど。

あかり：まあ、ゆいは中学生だから。

ゆい：……………？

トキ：って。ちょっと、あたしジュースなんて買  
ってあげられないから……………あんた……

……あくどいわね。

ゆい：……ひどい……。

あかり：……トキさん？……ゆいは悪  
気ないから許してあげてね……これが  
彼女だから……。

トキ：……あんたが言ったら、説得力あ  
るわね。……はあ……分かった…  
……1本だけだからね。

ゆい：……ありがとう……トキせん  
ぱい……。

(ギュ♡！)

トキ：うわ！……ゆい……好

き……………。

\* \* \*

あかり：着いたわ……………自動販売機。

トキ：……………自動販売機……………  
…数多すぎでしょ。

あかり：まあね……………食べ物とかも全部買える。  
る。

トキ：……………へ、へー……………虫？これ。

あかり：虫味のグミ。

トキ：いらないし。そういう意味じゃないわよ…  
……………誰が食べるの？爬虫類少女とか？

あかり：……………。

トキ：だまらないでよ。

あかり：まあ、うちじゃ、人間以外なんて珍しくないからね……………。

トキ：……………そう。……………もうそれぐらいじゃ、驚かないわ……………。

ゆい：……………これ買って。

トキ：リンゴジュース？分かった……………  
あ、財布忘れた。

あかり：お小遣いは？もらった？

トキ：親？まあ、ちょっとだけ。

あかり：違うわよ、校長から。

トキ：校長？

カミ：すまない、忘れてた。

トキ：え！今どっから来た？いきなり背後いるし。

カミ：……………これ使え……………それじゃ。

トキ：え？……………消えたし……………。

あかり：毎月、お小遣いくれるの……………だから、自動販売機は、実質無料ね。

トキ：まあ、ありがたいけど……………って、ゆいもお小遣い貰ってるじゃないの……………。

ゆい：……………だめ？

トキ：……………はあ……………リンゴジュースだったわね。

(ガシャ！)

トキ：はい、どうぞ。

ゆい：ありがとう……トキせんぱい。

トキ：ストップ、ハグはまた今度ね。

ゆい：分かった…………… (ゴクゴク)。

あかり：……………私達もなにか飲みましょうか？

トキ：……………そうね。

(ガシャ！)

トキ：ブラックコーヒー？……………あんた大人ね。

あかり：そうかしら？

トキ：あたしはね……………。

あかり：……………いちごミルク？

トキ：う、うるさい。

あかり：……………いいんじゃない？別に……………  
…。

トキ：……………。

(ガシャ！)

あかり：そこのベンチ座りましょ？

\*\*\*

トキ：なんか変な学校……………。

あかり：悪くないでしょ？……………私は気に入ってる。

トキ：……………まあ、否定はしない……………。

あかり：……………あなた……………前の学校……………  
……………。

カミ：『……………聞こえるか？』

トキ：な、なに、今の、なんか脳内に直接。

カミ：『身体測定の準備が出来た。体育館に来い。  
お前ら3人』

トキ：見られてるし……………。

ゆい：……………いこう？

あかり：行きましょうか。

トキ：……………はあ……………わかったわよ。

\*\*\*

トキ：体育館、ここ？広すぎ。

? : 返せ!

? : は、離してください!

トキ : ……………は?

あかり : ヒナ先生。

ヒナ : あ、あかりさん! 助けてください!

トキ : なに? なににやられてるの?

ゆい : たぶん、レナせんぱい。

トキ : レナ先輩? ……どこ?

レナ : それは、私のだ! 返せ!

トキ：……………え？ヒナ先生、なんか腕引っ張られてる。

ヒナ：キャ！

トキ：なに？どうなってるの？

—続く。